

創立144周年

学校便り

令和2年度 No.8



進取

令和2年12月21日発行

阿久根市立阿久根小学校
25学級 児童数447名

認め合い、助け合い、共に伸びる阿小の子 ~こころを紡ぐ~

校長 秦 明夫

多くの行事の開催を心配しながらの2学期のスタートでした。コロナ禍のために行事等の規模を縮小したり内容を工夫変更したりしながらも、保護者や地域の皆様のご協力により、2学期を終えることができますことを心から感謝申し上げます。

さて本年度、本校は「子供の人権プロジェクト推進校」の指定を受け、『認め合い、助け合い、共に伸びる阿小の子』を目標に教育活動に取り組んでいます。学校という集団の中で子供たちは集団生活のルールや友達との関わり方を学んでいきます。お互いを認め、励まし、助け合うことで自己肯定感や思いやりの心を育み、心の器を大きくしていきます。そのような中、運動会・修学旅行・宿泊学習・遠足・持久走大会など多くの行事を通し、子供たちが成長してくれたことをうれしく思います。

また、子供たちの成長の陰には、保護者の方々の励ましや助けも多分にあっただと思います。本年度、5・6年生は阿久根市が主催する「こころを紡ぐメッセージ」コンクールに参加しました。子供たちとお父さんお母さんや家族が、日頃の思いをメッセージにしてお互いに伝え合うという取組です。子供たちは、「ぼくもいつかお父さんになったら、お父さんのようにいつも明るく楽しいお父さんになりたいです。」「お母さんの子供でよかったとすごく思います。」などメッセージに綴っています。保護者の方の「これからもずっと応援しています。」「生まれてきてくれてありがとう。」というメッセージを読むと心が熱くなりました。

いよいよ子供たちが楽しみにしている冬休みに入ります。しかしコロナ禍で旅行や親戚の方との交流、地域行事への参加など、冬休みならではの楽しみが制限されてしまうのがとても残念です。そのような中だからこそ子供たちには、家族とのふれあい、団らんを大切にしてほしいと思います。ぜひお子さんと今年一年を振り返ったり、お子さんの新年の抱負を聞いてあげたりしてください。

新年が多くの人をこころを紡ぐ幸多き年となるようご祈念いたします。



冬休みの体調管理と3学期始業式

12月に入り、急に寒くなったため、風邪等による欠席者が増えるのではないかと心配していましたが、幸いにも急激に欠席者数は増えませんでした。しかし、冬休みに入ると、つい寝る時刻が遅くなり、生活リズムを崩しがちになります。風邪の予防として、手洗い・うがいの励行はもちろんのこと、十分な睡眠と栄養を心掛けください。そして、コロナウイルス感染症予防のため、不要不急の外出の自粛と「3つの密(密閉・密集・密接)」を避けること等もお願いします。また、3学期に向けて、なわとびやランニングなど親子で運動にもチャレンジしてみてもはどうでしょうか。

3学期の始業式は、**1月8日(金)**です。給食後に下校です。下校時刻は13時15分頃を予定しています。筆記用具、シューズ、通知表、冬休みの宿題など忘れないように確認をお願いします。持ち物等の詳細は、学級便りをご覧ください。